

【学校教育目標】 「自分とみんなのために」心を尽くし、学びを深め、ともに動く 大小っ子の育成
【目指す児童像】 「気づく子 学ぶ子 元気な子」

大村市立大村小学校

学校だより

第7号

令和7年6月18日発行

文責：校長 堺 邦寿

玖城のほとり



★ 家庭訪問 お世話になりました ★

6月2日(月)～9日(月)までの6日間、各担任が各御家庭を訪問させていただきました。お忙しい中、日程調整も含めて、訪問日当日も各担任がたいへんお世話になりました。ありがとうございました。



家庭訪問は、担任が御家庭を訪問させていただき、お子様の性格や好きな遊び、友人関係、御家庭での学習や生活の様子、保護者の皆様の子育てについてのお考え等をお伺いし、そのことを今後の教育に生かしていくことが大きな目的の一つです。今回お伺いしました内容につきましては、しっかりと今後の学校での教育に生かしてまいります。また、お子様の登校経路や危険箇所等についても確認することができました。直接保護者の皆様とお会いしてお子様のことをお話しさせていただいたことは、学校と保護者の皆様との連携のうえで大切な一歩になりました。改めて感謝申し上げますとともに、今後も本校教育に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

★ ブックハート月間 始まりました！ ★

本校では、年間3回、本を読んで心を温める期間「ブックハート月間」を設定しており、第1回目は、昨日6/17(火)から7/7(月)までの3週間となっています。この期間には、次の取組を行います。

- ①ブックビンゴ（全部クリアでプラス1冊券を2枚プレゼント）
- ②学級ごとの目標冊数の設定 ③先生おすすめの本の紹介
- ④図書委員会による読み語り ⑤図書委員会おすすめの本の紹介



昨日の昼休みの図書室は、ブックハート月間の初日ということもあり、大賑わいでした。

昨日の貸出冊数は、681冊、いつもの倍以上の貸出冊数となりました。そして、本校全体の昨日までの貸出冊数は、「9, 167冊」、年間目標の「50, 000冊」に着実に近づいています。本に親しみ、読書を楽しんでいる大小っ子が増えていることを感じています。

昨年度の学校評価における「自分の子どもは、読書の習慣が身に付いている」の項目の保護者の肯定的評価は51%という状況でした。今年度は、お子様が本に親しみ、読書の習慣を少しでも高めることができるよう学校の取組を紹介してまいります。

読書の効果について、文部科学省は「読書することは、『考える力』、『感じる力』、『表す力』等を育てるとともに、豊かな情操をはぐくみ、すべての活動の基盤となる「価値・教養・感性等」を、生涯を通じて涵養していく上でも、極めて重要である。」と言っています。

ICT機器を活用した効果的な学習についても、学校では取組を進めていますが、読書活動についても大切にしていきたいと考えています。

この読書活動については、「みみりん会」（図書ボランティア）の皆様にもお力添えをいただいています。本の読み聞かせ（年間16回）、ミライ on 図書館本の紹介棚の設置、学校図書館の飾りづくり等を通して、子どもたちの読書活動を支えてくださっています。

先日6/13(金)の朝の時間に、第1回目の読み聞かせをしてくださいました。子どもたちは、この読み聞かせをとても楽しみにしています。子どもたちのために、いつもありがとうございます。

